

津波のひなん方法を考える シンポジウム

(津波に強い建築を活用した津波減災を考える)

主催：日本建築学会東北支部 「津波に強い建築を活用した津波減災研究委員会」
日本建築学会災害委員会

開催日時：2024年3月9日(土) 13:30~15:00

参加費：無料(会員・会員外問わず)

会場：せんだいメディアテーク 7階シアターホール(定禅寺通り)

プログラム

I 私の考え(各10~20分)

- (1) 齊藤徳美氏 岩手大学名誉教授
- (2) 小関勝男氏 小関構造設計室(岩手県)
- (3) 高校生・大学生の意見
- (4) 田中礼治氏 東北工業大学名誉教授
- (5) 船木尚己氏 東北工業大学教授
- (6) 大和田雅人氏 ジャーナリスト(宮城県)

II 全参加者の考え+全参加者で話し合う

参加者全員に、個人の考えを3分程度で話してもらおう。津波のひなん方法を皆で話し合う。

参加方法：

申込締切：

2024年3月5日

(火) 当日参加可能

下記QRコードのGoogle formよりお申込みいただくか、氏名・所属・メールアドレスをご記入の上、学会までメールにてお申込みください。

aij-tohoku@mth.biglobe.ne.jp

(日本建築学会東北支部事務局・伊藤まで)



ごあいさつ（御参加のお願い）

「津波のひなん方法を考えるシンポジウム」

主催 日本建築学会東北支部「津波に強い建築を活用した津波減災研究委員会」

委員長 田中礼治
(東北工業大学名誉教授)

副委員長 船木尚己
(東北工業大学教授)

今年の正月は地震で明けた。大きな地震と津波が石川県で発生した。テレビを見ていたら、アナウンサーが、「今すぐ避難！今すぐ避難！東日本大震災を思い出して下さい！」と緊迫した様子で、何度も警鐘を鳴らしていた。

現在、日本建築学会東北支部でちょうど、津波減災研究委員会を設置し津波のひなんに関して検討している。

「津波とひなん」に関して皆で考えてみるのも大切なことだと思っております。

皆様の御意見をシンポジウムで御聞かせいただければ幸いです。御多忙中のところ誠に恐縮ですが、御参加のほど宜しくお願い申し上げます。今回のシンポジウムでは日本の将来を考えて、高校生、大学生などの若い人にも多数参加して戴こうと考えております。老若男女で、これからの日本の将来を考えるよい機会ではなかろうかと思っております。

御参加、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。貴殿の関係している諸団体の方々にも是非とも御一緒に御参加いただければ、幸いに思う次第です。

できましたら、御近所の方と、お誘いあわせて御参加いただければと思う次第です。宜しくお願い申し上げます。ご家族での参加も大歓迎です。



御連絡は下記にお願いします。

一般社団法人 日本建築学会東北支部 事務局 伊藤章子

● 〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-15

日本生命仙台勾当台南ビル 4 階

TEL 022-265-3404 FAX 022-265-3405

(E-MAIL : ajj-tohoku@mth.biglobe.ne.jp)

田中への連絡は下記にお願いします。

田中 礼治

メールアドレス rtanaka@tohtech.ac.jp

携帯電話番号 090-8614-3244